

2012年3月期 決算説明会

 黒崎播磨株式会社
(証券コード:5352)

2012年6月5日

目次

1. 2012年3月期決算の概要

2. 2013年3月期決算の見通し

3. 当社の主要課題について

<ご参考> 当社の概要

2012年3月期決算ハイライト

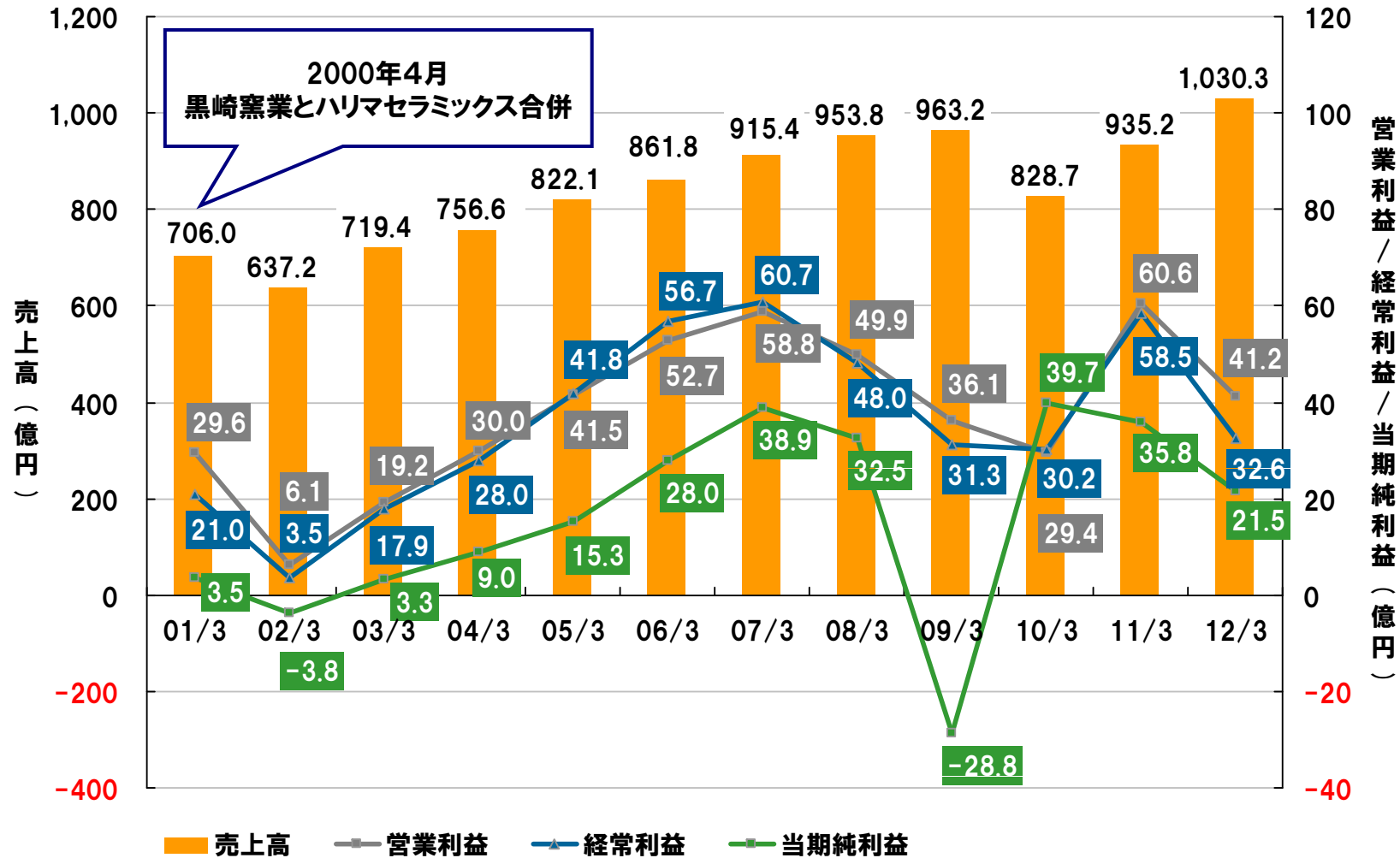
TRL Krosaki*買収により増収も、コスト増により減益

(単位:億円)	11年3月期	12年3月期	対前年度増減	
売上高	935.2	1,030.3	95.1	10.2%
営業利益	60.6	41.2	△19.3	△32.0%
経常利益	58.5	32.6	△25.8	△44.2%
当期純利益	35.8	21.5	△14.3	△40.0%

*TRL KROSAKI REFRACTORIES LIMITED(インドの耐火物メーカー)
2012年3月期第2四半期より同社のPLを連結。

業績推移

売上高は過去最高、1,000億円を超える



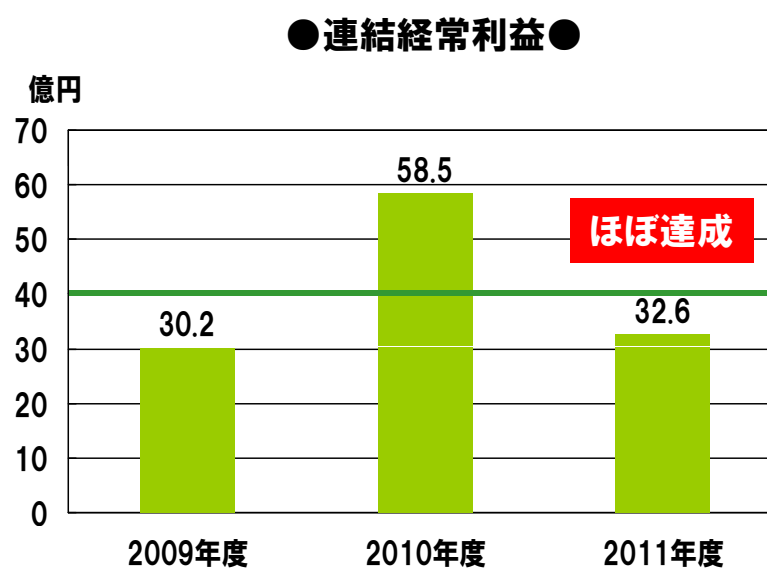
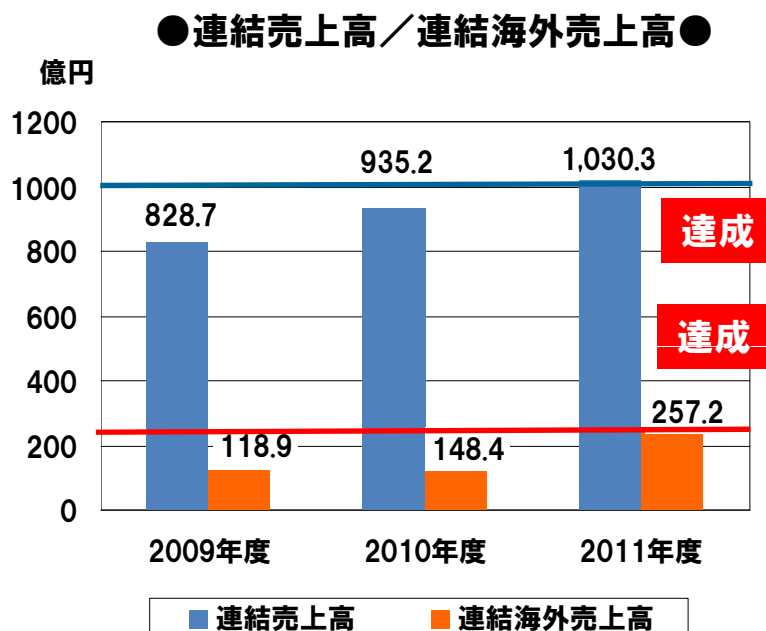
第9次中期経営計画の総括

<数値イメージ>

連結売上高 **1,000億円程度** (前提:国内粗鋼1億トン)

連結経常利益 **40億円以上**

改善目標 **新規拡販160億円以上**
(うち、海外で**100億円以上**)

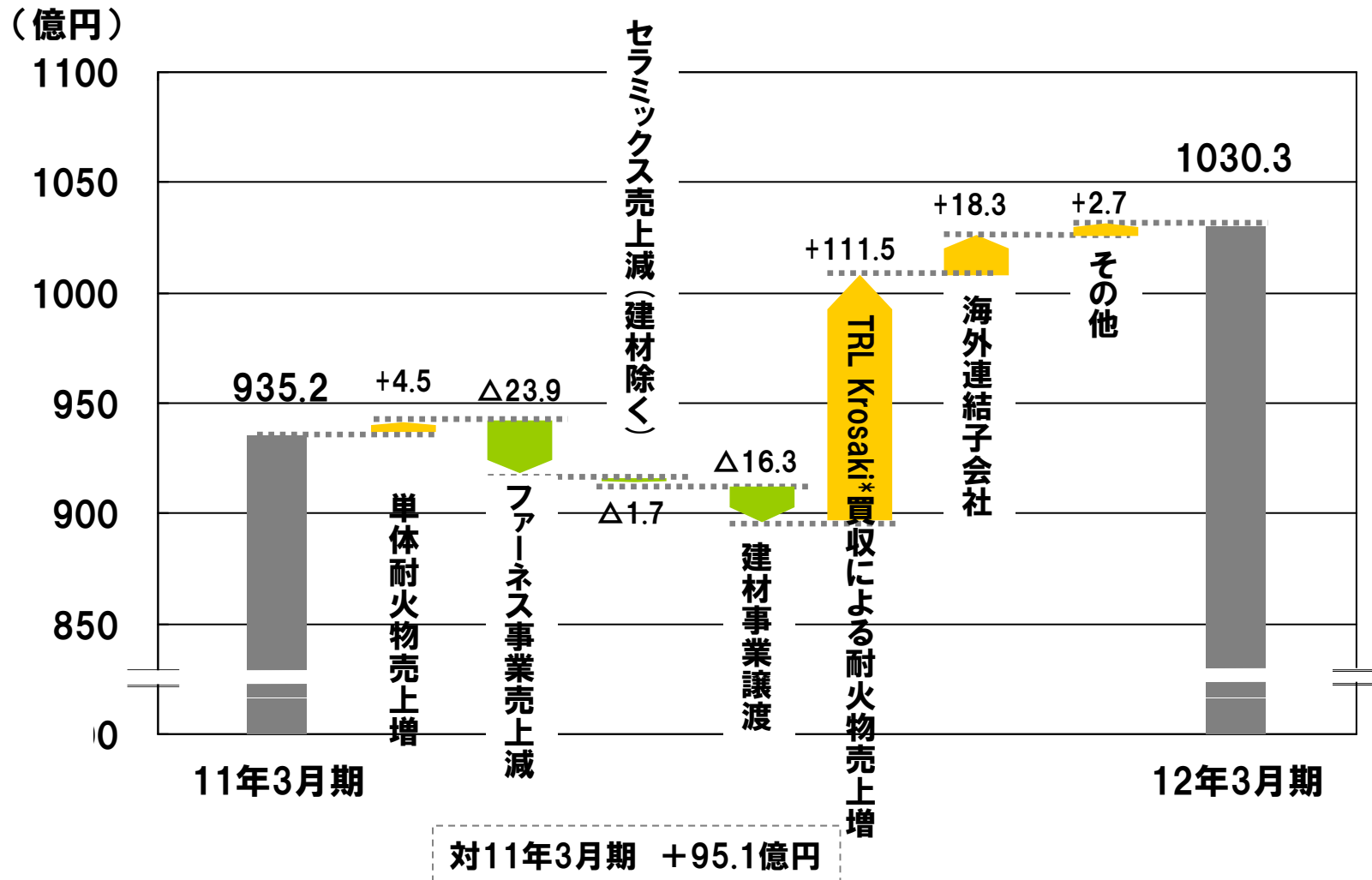


事業セグメント別売上高

(単位:億円)	11年3月期	12年3月期	対前年度増減		主な増減要因
耐火物	704.6	838.7	134.1	19.0%	・TRL Krosaki子会社化(111億円) ・建設用(高炉等改修)案件受注増
ファーンレス	147.6	123.7	△23.8	△16.2%	・工事案件端境期による減 ・粗鋼生産減に伴う作業減
セラミックス	64.1	50.8	△13.3	△20.7%	・建材事業譲渡(△16億円)
不動産	10.0	9.3	△0.6	△6.3%	
その他	8.8	7.5	△1.2	△14.0%	
合計	935.2	1,030.3	95.1	10.2%	

※外部顧客への売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まず。

売上高増減要因(対11年3月期)

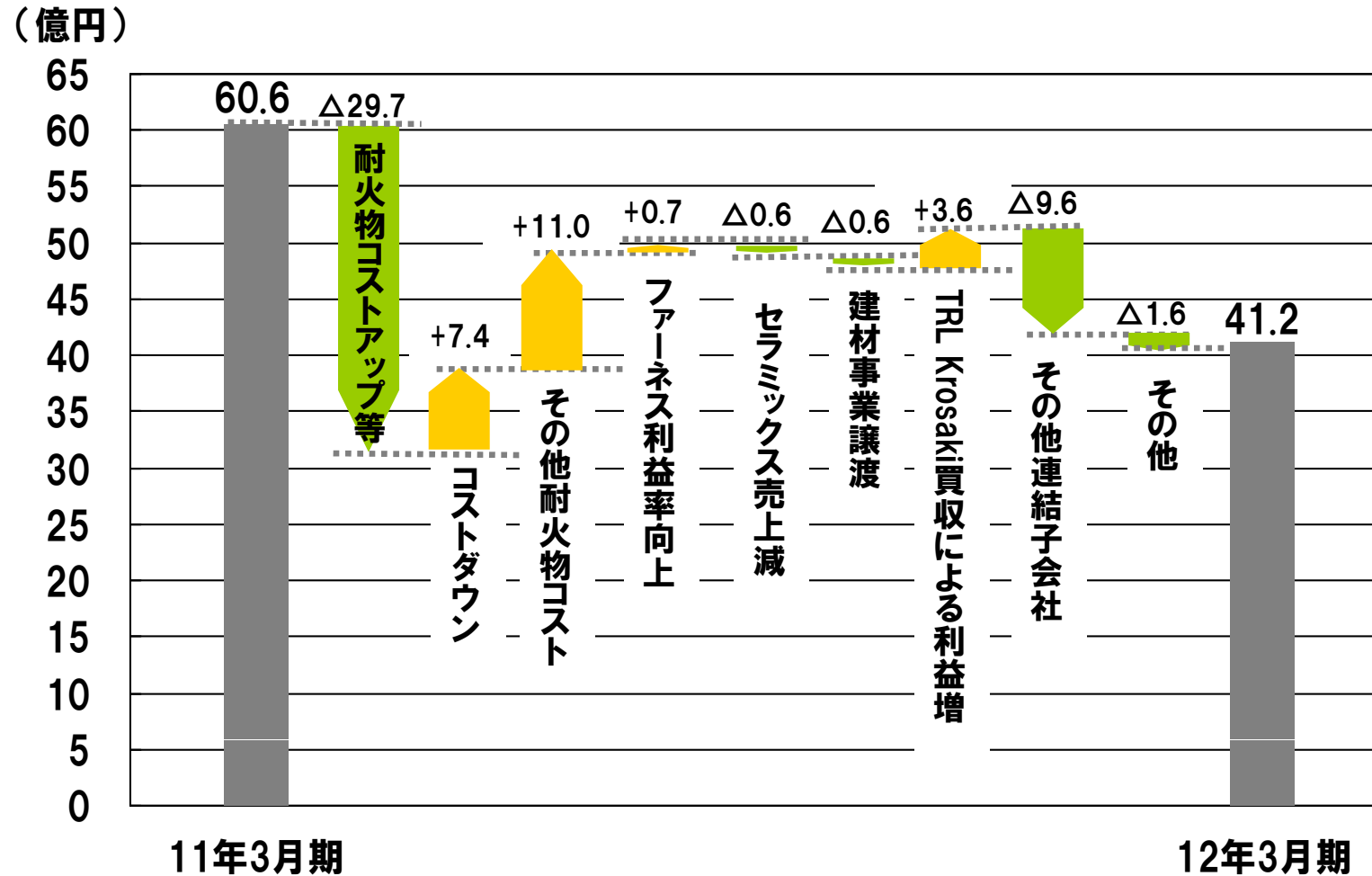


*TRL KROSAKI REFRACTORIES LIMITED(インドの耐火物メーカー)
2012年3月期第2四半期より同社のPLを連結。

事業セグメント別営業利益

(単位:億円)	11年3月期	12年3月期	対前年度増減		主な増減要因
耐火物	51.3	35.1	△16.1	△31.5%	・原材料価格等の高騰
ファーンレス	3.5	4.1	0.6	17.1%	・工事案件の利益率改善
セラミックス	3.9	0.6	△3.3	△84.4%	・売上高の減
不動産	3.0	2.9	△0.1	△5.5%	
その他	0.4	0.0	△0.4	△85.7%	
合計	62.3	42.9	△19.4	△31.1%	
調整額	△1.7	△1.7	0.0	△2.3%	
連結	60.6	41.2	△19.3	△32.0%	

営業利益増減要因(対11年3月期)



対11年3月期 Δ 19.3億円

顧客所在地別売上高

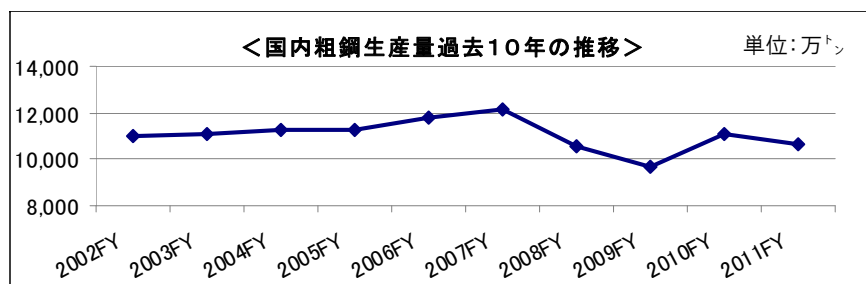
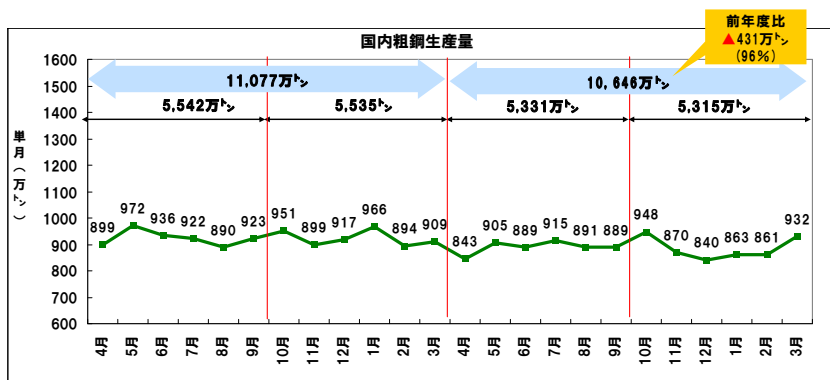
海外売上高比率が約25%まで上昇(前期実績約16%)

(単位:億円)	11年3月期	12年3月期	対前年度増減		各区分に属する 主要国/地域
日 本	786.7	773.1	△13.6	△1.7%	
イ ン ド	9.3	102.2	92.9	994.0%	
ア ジ ア	55.8	57.1	1.3	2.3%	中国、台湾
欧 州	40.3	50.4	10.1	25.2%	スペイン、オランダ
北米・その他	42.8	47.3	4.4	10.3%	アメリカ合衆国、 オーストラリア
合 計	935.2	1,030.3	95.1	10.2%	

最大の需要先 鉄鋼業界の生産量の推移

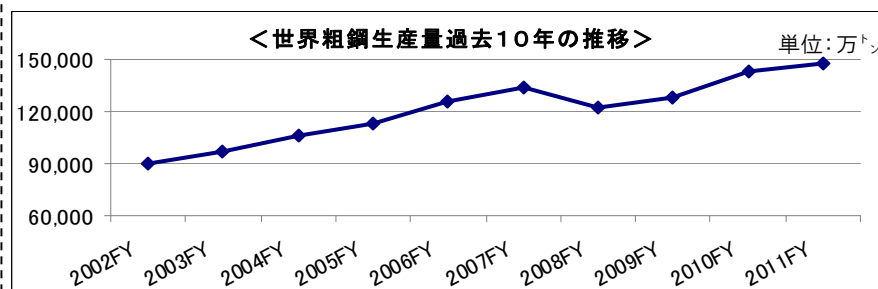
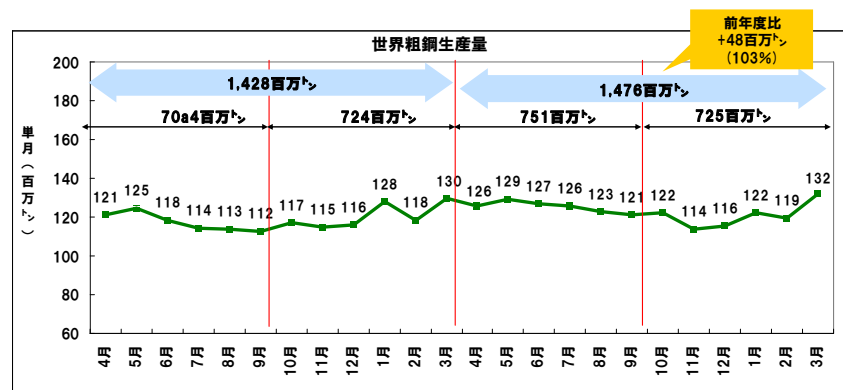
国内粗鋼生産量

09年度	10年度	11年度	対前年度比
0.96億t	1.11億t	1.06億t	△4%



世界粗鋼生産量

09年度	10年度	11年度	対前年度比
12.7億t	14.2億t	14.7億t	3%



財務状況(連結)

(単位:億円)	11年3月末	12年3月末	対前年度末		主な増減要因
資産の部	888.1	963.0	74.9	8.4%	
流動資産	502.8	492.6	△10.1	△1.1%	
現金及び預金	103.5	26.5	△77.0	△8.7%	・TRL Krosakiおよび有明マテリアル株式取得に充当
棚卸資産	130.1	163.7	33.6	3.8%	・TRL Krosaki分の増
固定資産	385.0	470.2	85.1	9.6%	・TRL Krosakiのれん(72億円)
負債純資産合計	888.1	963.0	74.9	8.4%	
負債の部	546.2	606.5	60.3	6.8%	
有利子負債	228.3	265.6	37.2	4.2%	・TRL Krosakiおよび有明マテリアル株式取得に一部充当 ・上記2社分の増 (TRL25億円、有明4億円)
純資産の部	341.9	356.5	14.6	1.6%	
株主資本	333.2	348.6	15.4	1.7%	・利益剰余金の増
自己資本比率	37.2%	33.7%	—	△3.5 ポイント	

キャッシュ・フローの状況(連結)

(単位:億円)	11年3月期	12年3月期	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	91.8	36.3	<ul style="list-style-type: none"> ・前期のファクタリング実施による仕入債務増の反動(30億円) ・支払法人税等増(11億円)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3.5	△114.4	<ul style="list-style-type: none"> ・TRL Krosaki(105億円)および有明マテリアル(3億円)の株式取得 ・建材事業譲渡(13億円)
フリーキャッシュ・フロー	88.2	△78.0	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17.2	△0.1	
キャッシュ・フロー合計	71.0	△78.2	

年間配当金

配当に関する考え方

- ✓ 各期の業績に応じた配当を基本
- ✓ 配当性向:連結20%程度を基準
- ✓ 13年3月期は中間配当実施予定

	11年3月期 実績	12年3月期 予定	13年3月期 予想
第2四半期末	0円	0円	2.5円
期末	7円	5円	2.5円
合計	7円	5円	5円

目次

1. 2012年3月期決算の概要

2. 2013年3月期決算の見通し

3. 当社の主要課題について

<ご参考> 当社の概要

2013年3月期通期業績見通し

原材料価格の高騰懸念あるも、32億円の経常利益を見込む

(単位:億円)	12年3月期 実績	13年3月期 業績見通し	12年3月期 実績との比較	
売上高	1,030.3	1,045.5	15.1	1.5%
営業利益	41.2	32.2	△9.0	△21.9%
経常利益	32.6	31.7	△0.9	△2.9%
当期純利益	21.5	16.6	△4.9	△22.8%

【前提】

- ✓ 国内粗鋼生産量：1億トン／年
- ✓ 為替：1ドル=80円
1ユーロ=102.5円
1ルピー=1.65円

目次

1. 2012年3月期決算の概要

2. 2013年3月期決算の見通し

3. 当社の主要課題について

<ご参考> 当社の概要

当社の主要課題について

「サバイバル&成長」プランを更に加速

1. 耐火物総合ソリューションの深化・拡大
2. グローバル展開の拡大、成長・ビジネスチャンスの創出
3. 耐火物原料の安定調達の強化
4. 生産性の向上と経営資源の効率的活用
5. 耐火物以外の事業は成長領域・シナジー期待領域への展開加速

※中期経営計画は今年10月の新日鐵住金の誕生を受け、発表を予定。

国内総合ソリューションの深化・拡大

顧客課題の解決の取り組みを強化し、国内収益基盤を盤石化

- ✓ **鋼材コストミニマムへの貢献**
 - ✓ エネルギーロス削減のための断熱技術
 - ✓ 耐用性向上および施工時間短縮による顧客設備稼働ロスタイム削減
 - ✓ 安価汎用耐火物のグローバル調達(中国・インド)・顧客への提供
- ✓ **鋼の品質向上への貢献**
 - ✓ 高清浄鋼精錬、安定鑄造、介在物除去の高級耐火物の開発
- ✓ **新たなニーズへの顧客と一体となった取り組み**
 - ✓ 高耐用の施工体を実現する新エンジニアリング技術の開発
- ✓ **ゼロエミッションへの貢献**
 - ✓ 使用済み耐火物のリサイクル活用の推進
- ✓ **顧客別の営業部と品種別の製造事業部のマトリクス組織で、顧客過大への最適解を迅速に提供**

国内総合ソリューションの深化・拡大

エネルギーロス削減のための断熱技術

【環境変化】

石油の高騰、CO₂ガス削減、原子力発電問題
(節電対策) から一層の省エネ対策が必要

- ✓ 当社グループの有する様々な断熱材料と診断・施工技術により、放散熱量を約45%削減して、高い省エネ効果を実現
- ✓ 2014年度拡販目標:10億円

<当社グループの有する各種断熱材料>

セラミックス
ファイバー
(新日本サーマルセラミックス)



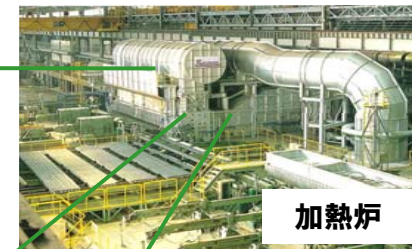
ナノ断熱シート



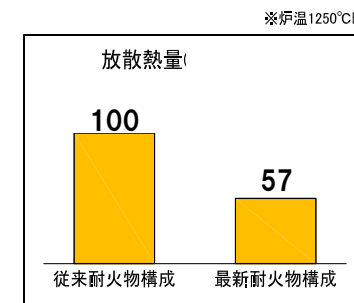
断熱不定形耐火物



ナノ断熱ボード



<熱精算指数比較>



鉄鋼顧客(加熱炉)における省エネ例

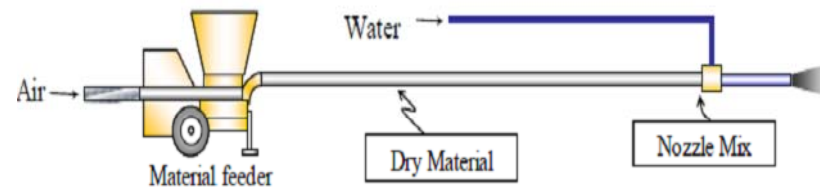
従来構成から新規断熱材料構成等により、
放散熱量を約45%削減

国内総合ソリューションの深化・拡大

新エンジニアリング技術の開発

- ✓ 使用用途に応じ、最適な高耐用の施工体を実現する、様々なタイプの新エンジニアリング技術の開発

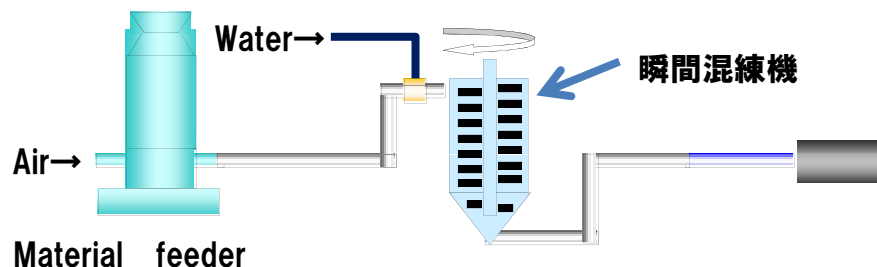
1. 従来法：乾式吹付け



2. 新施工法（一例）

H-QMI Hot-Quick Mixing & Mist Injection

（新日鐵殿との共同開発）



瞬間混練
↓
水/粒子の混練性を向上し低水分化
↓
緻密/高強度な施工体を実現
耐用 2～3倍に向上

世界での成長戦略(インド)

伸長するインド、東南アジア等への拡販をめざす

TRL Krosaki 子会社化後の進捗状況

- ✓ 2011年5月、インドの大手耐火物メーカー TRL Krosaki に出資
- ✓ 現在スタッフ派遣により、耐火物製造及び使用に関する技術的なてこ入れ
- ✓ 戦略品種2種(マッド材*、SNノズル・プレート)を、日本製のパフォーマンスでインド価格にて提供するために新ラインを建設中
- ✓ **2012年9月、マッド工場操業開始予定**
 - ✓ 2014年度目標販売額:483百万ルピー
(約796百万円)
- ✓ 2013年9月、SNノズル・プレート製造設備の操業開始予定



建設中のマッド工場

*マッド材:高炉の出鉄口を閉塞する、粘土状の耐火物

世界での成長戦略(欧州)

欧州での販売ルートの更なる充実を図る

欧州販売子会社(KEB*)の機能拡充

- ✓ 2011年度、KEB内に営業本部及び技術サービス部を設置
 - ✓ 欧州市場全域のニーズを迅速・的確に一元的に掌握、事業戦略の展開
 - ✓ 黒崎播磨製品とスペイン製造子会社(AMR**)製品の、一元化した販売活動と販売ルートの簡素化・最適化
 - ✓ TRL Krosakiとの連携による高炉大手(TATA STEEL欧州を中心に)への拡販
- ✓ 2014年目標売上高:75億円(2011年実績 約50億円)

*Krosakiharima Europe B.V
**Krosaki Amr Refractorios, S. A.

世界での成長戦略(中国)

拡販を実現する生産能力増強の準備進む

中国製造子会社(WKS*)での生産能力増強

- ✓ 拡販を実現する生産能力増強
 - ✓ 中国国内および世界各国市場向け製品
 - ✓ 自動化による生産性向上
 - ✓ 生産能力 AGノズル : 134t/月→240t/月
SNノズル・プレート : 500t/月→700t/月

- ✓ 製造ラインが着々と完成

- ✓ AGノズル

一部設備	2012年3月完成
全設備完成	2012年12月予定



- ✓ SNノズル・プレート

一部設備	2012年5月完成
全設備完成	2012年12月予定



SN工場増設建屋

*無錫黒崎蘇嘉耐火材料有限公司

生産性向上と経営資源の効率的活用

より一層強固な耐火物事業の基盤づくり

子会社 九州耐火煉瓦(株)との合併

- ✓ 合併の目的
 - ✓ 経営資源の集約による経営の効率化
 - ✓ 原料・資材の購買一元化による購買コストの削減
 - ✓ 製造ラインの黒崎播磨セラコーポ(株)への請負化
 - ✓ 間接部門統合による管理コストの削減
- ✓ 合併予定日:2012年7月1日
- ✓ 吸収合併方式(存続会社:黒崎播磨、消滅会社:九州耐火煉瓦)

九州耐火煉瓦(株)概要

- 設立:1916年7月
- 所在地:岡山県備前市
- 資本金:480百万円
- 売上高:7,956百万円(2011年度)
- 事業内容:耐火物事業(主に転炉用)、セラミックス事業

生産性向上と経営資源の効率的活用

改善力強化による高効率・フレキシブルな生産体制の構築

工場における労働生産性向上活動

- ✓ IE*手法等により直接的には価値を生んでいないムダ作業を抽出し、
その**改善**（現場作業者とスタッフの共同による）により**労働生産性向上**を目指す。
- ✓ 社長を統括エグゼクティブ・プロジェクトリーダーとした取り組み。
- ✓ 対象工場：耐火物3工場（2012年7月からは4工場予定）
 ファインセラミックス1工場
- ✓ コンサル：テクノ経営総合研究所**
 ※現場指導会を毎週1回実施
- ✓ 目標：労働生産性 年間20%改善

*Industrial Engineering

**32年で約3,500事業所のコンサルタント実績

成長領域・シナジー領域への展開強化

第3の柱セラミックス事業を安定的な収益体質へ

有明マテリアル(株)の完全子会社化

- ✓ 両社の強みを生かし、事業領域を拡大
 - ✓ これまでの当社セラミックス事業は半導体製造装置が中心
 - ✓ 今後は電子部品製造、光学・医療機器、製鉄、産業機械など多岐に展開

黒崎播磨の強み	有明マテリアルの強み
<ul style="list-style-type: none">▶ 豊富な材料(酸化物、非酸化物)▶ 開発力(材料から加工仕上げまで)▶ 超精密・複雑・大型製品の製造力▶ 顧客の設計段階から提案参画	<ul style="list-style-type: none">▶ 豊富な情報(市場、顧客など)▶ 営業力(柔軟な対応)▶ 小型・アセンブリー製品の技術力▶ 広範な分野への対応

- ✓ 2012年1月、有明マテリアル子会社化、事業譲渡
- ✓ 2012年2月、有明マテリアルより営業権譲渡
- ✓ 2012年4月、当社と有明マテリアルの営業箇所を集約
- ✓ 2014年度拡販目標(セラミックス事業):4億円

目次

1. 2012年3月期決算の概要

2. 2013年3月期決算の見通し

3. 当社の主要課題について

<ご参考> 当社の概要

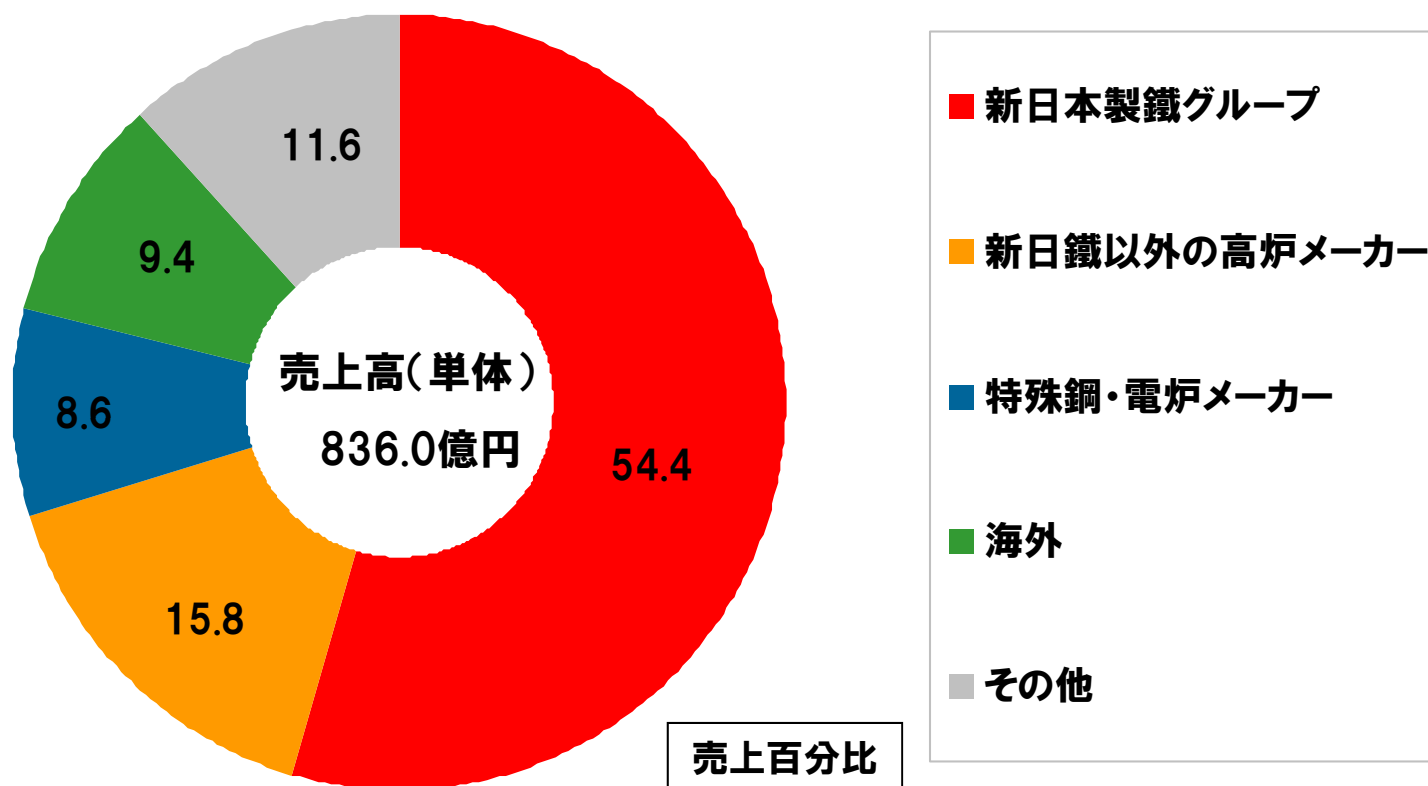
会社概要 (2012年3月末現在)

商号	黒崎播磨株式会社
資本金	5,537百万円
設立	1918年10月14日
創業	1919年 6月 1日
主要事業	耐火物製造・販売
従業員	連結4,347名、単体1,270名
連結対象会社*	13社（国内5社、海外8社）

*持分法適用会社を含む

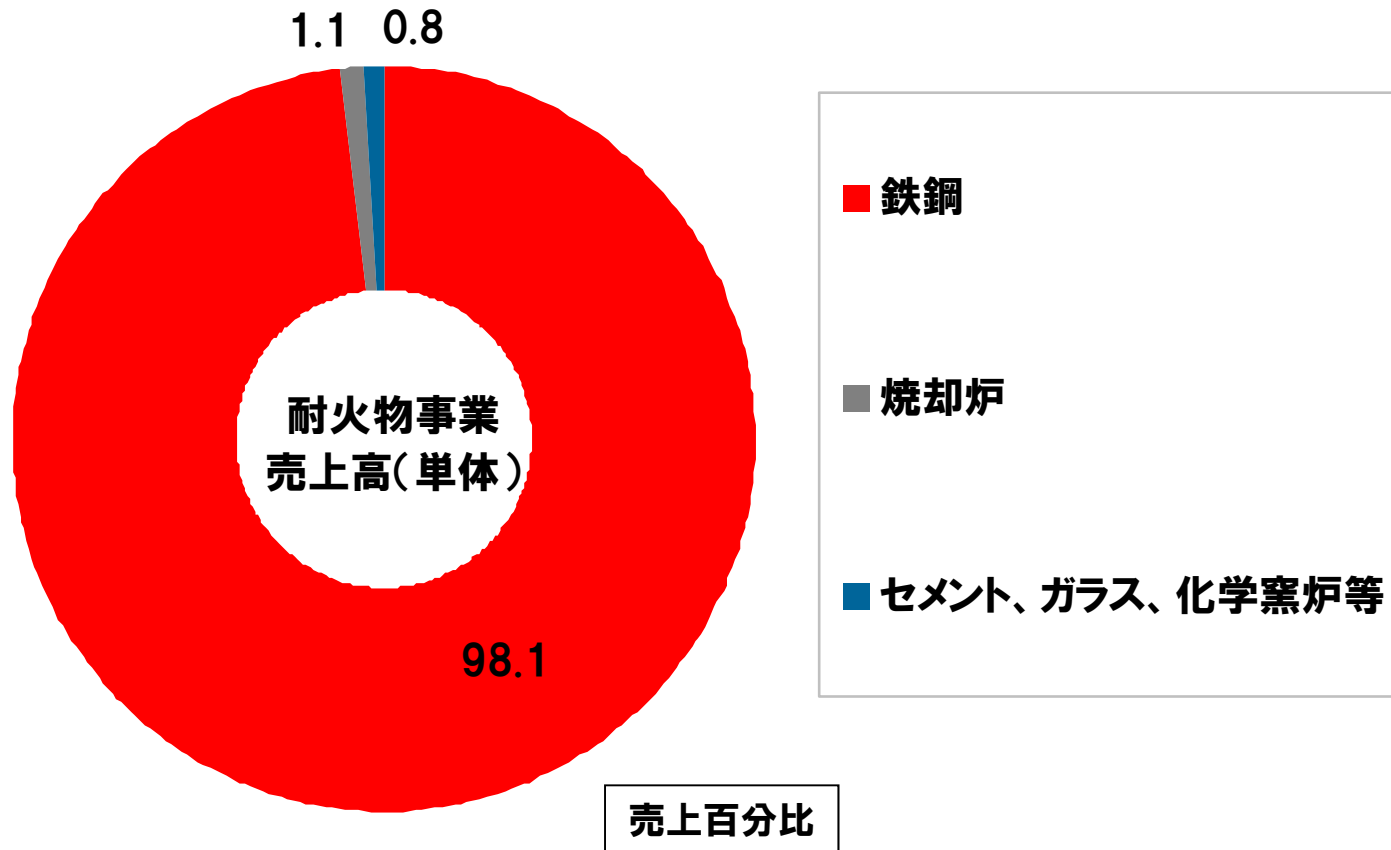
得意先別売上構成比(2012年3月期決算:単体)

納入先は国内外の高級鋼メーカー



分野別の耐火物販売割合(2012年3月期決算:単体)

耐火物のうち98%を鉄鋼向けに販売



耐火物：製鉄に不可欠な基礎資材

<製鉄プロセス>



高炉

耐火物の寿命
約20年



高炉用
アルミナ煉瓦



混鉄車

耐火物の寿命
約3~4ヶ月



混鉄車用
アルミナ炭珪カーボン煉瓦



転炉

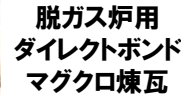
耐火物の寿命
約3~4ヶ月



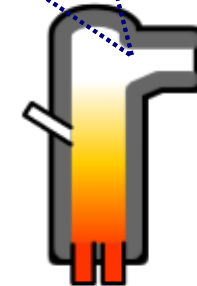
転炉吹付用不定形耐火物
※写真は吹付けの様子



転炉用
マグネシアカーボン煉瓦



脱ガス炉用
ダイレクトボンド
マグクロ煉瓦



二次精錬炉

耐火物の寿命
《上部》約1年
《下部》約1ヶ月



攪拌プラグ



連続設備用
AGノズル



溶鋼鍋/連続製造設備

耐火物の寿命
数日または日々交換



SNプレート駆動装置



連続設備用
SNプレート

主な耐火物製品の販売市場／生産拠点

耐火物の分類	窯炉用耐火物 	機能性耐火物			不定形耐火物	
		連続铸造用AGノズル 	連続铸造用SNノズル・プレート 	攪拌プラグ 	補修材／流し込み材 	マッド材 
適用される主な製鉄設備	高炉、混鉄車、転炉、二次精錬炉	連続铸造設備	連続铸造設備	溶鋼鍋	高炉、転炉、溶鋼鍋	高炉
用途(機能)	設備の内張	溶鋼の整流	溶鋼の流量制御	溶鋼の攪拌	補修、設備の内張	高炉出鉄口の閉塞
黒崎播磨グループの主な生産拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・スペイン ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・インド(予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・スペイン ・アメリカ ・インド(予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・インド(予定)
黒崎播磨グループの主な市場	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・アジア ・欧州 ・北米 ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・アジア ・欧州 ・北米 ・豪州 ・インド(予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・アジア ・欧州 ・北米 ・豪州 ・インド(予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・欧州 ・北米 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・アジア ・北米 ・欧州 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・北米 ・欧州 ・豪州 ・インド

当社のファース施工例

省エネルギー、耐久性向上でお客様に貢献

●プッシャー炉

▶ビーム連続加熱炉等



●ウォーキングビーム炉

▶シームレス管再加熱炉等



●ウォーキングハース炉

▶特殊鋼ビレット連続加熱炉等



●耐火物築造工事

▶耐火物築造、解体、メンテナンス作業



当社のセラミックス製品例(ファインセラミックス分野)

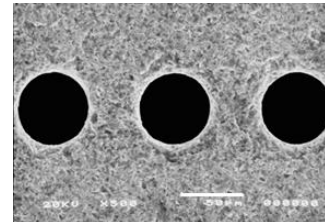
お客様の絶え間ない「高性能化」に貢献

- 精密測定機用基準器
➢測定機器、光学機器分野



ゼロ膨張セラミックスNEXCERA™の優れた寸法安定性、環境ロバスト性を活かし、原器や精密測定機器の更正器として適用開始。

- マシナブルセラミックス(写真はマセライトHSP)
➢電子部品製造、産業機械、半導体製造分野



金属加工と同様に加工できる易加工性のセラミックス。ミクロンオーダーの微細加工を実現。写真は、小径穴加工(直径60 μ m)したマセライトHSPのプロブカード。用途はウエハーに形成されたICチップの検査治具。

- スパッタリングターゲット材
➢電子部品、半導体デバイス分野



電子部品や半導体デバイスを熱や摩耗から守る薄膜を形成する高純度セラミックスのスパッタリングターゲット材。サーマルプリンターヘッド等に適用。

- 薄型面状ヒーター
➢液晶・有機EL製造、半導体製造、高性能ヒーターユニット分野



薄い面状ヒーターで優れた均熱性、熱応答性が特長。さまざまな産業分野で生産性向上に寄与する。設計ニーズから対応できて、大小サイズのヒーターを提供できる。

当社のセラミックス製品例(省エネ分野向け)

省エネルギー・環境分野で社会に貢献

●高機能断熱材

- 製鉄・非鉄、各種工業炉、航空機、自動車分野

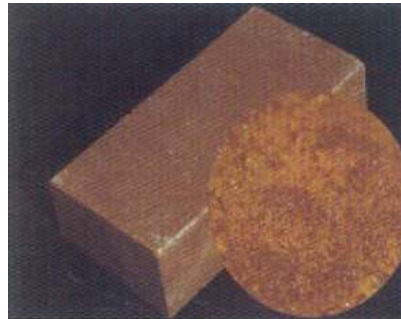


鉄鋼業(溶鋼鍋)での施工例

断熱性能が静止空気より優れ、既存の断熱材より格段に優れる断熱特性を発揮して、省エネや薄肉化・小型化・軽量化による生産性向上に寄与。

●高機能蓄熱材

- 蓄熱暖房分野



抜群の蓄熱特性を有するセラミックス材料で蓄熱暖房機や床下暖房機等に適用される。夜間電力利用により電気エネルギーの有効活用にご貢献。

●エコ建材

- 舗装・外壁れんが等建材分野



透水・保水、遮熱等の環境機能を有し、風合いと意匠性を兼ね備えた建材。都市建材リサイクル材を原料に使用する技術をもって循環型都市形成にご貢献。



<http://www.krosaki.co.jp/>

本資料は、金融商品取引法上の開示資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。